

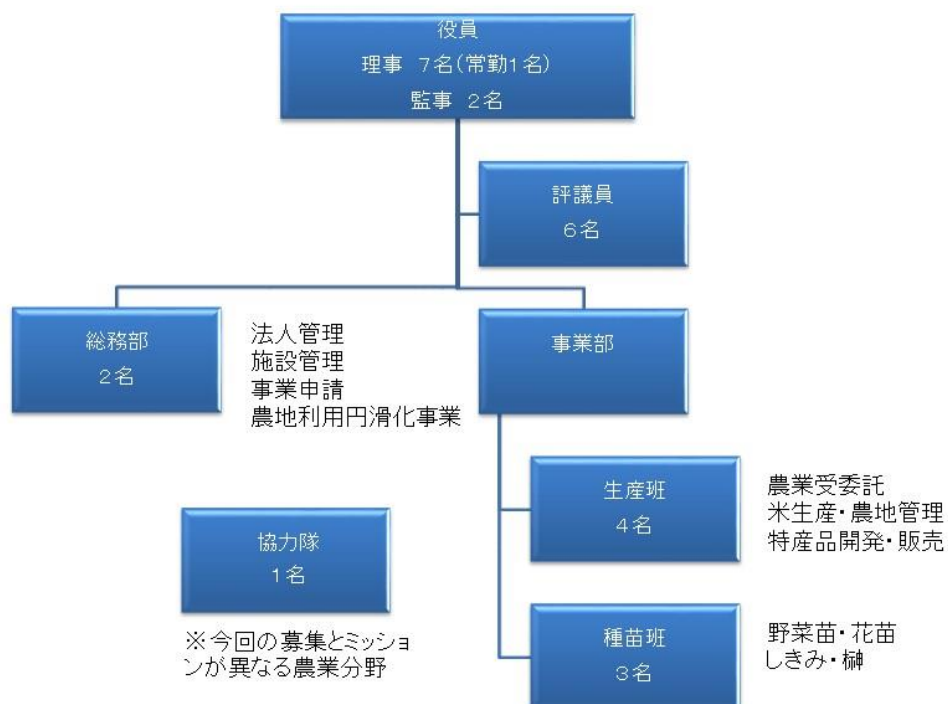
一般財団法人本山町農業公社 とは

本山町農業公社は平成6年4月、農林業を中心とした地域づくりを進めることを目的に設立されました。

- 資本金 10,000千円 (町：90%、JA：10%)
- 事業内容
- ①農用地利用推進事業 (農地利用集積・農作業受委託)
 - ②米生産事業
 - ③種苗事業
 - ④特産品普及事業



本山町農業公社の組織図



地域おこし協力隊募集の趣旨

【課題】

都市への人口流出・農業の担い手不足・農家の高齢化など大きく変貌しようとする中山間地域の農業。「10年後、20年後、美しい農村環境がどうなってしまふのか？」不安材料が拭えません。

そのような状況のもと、生き残りをかけた戦略が求められています。

【取組】

協力隊として活動する3年間で、中山間地域の農業象を客観的に見つめ、どの様に展開するべきか？これまでの農業公社の活動を踏まえながら、農業公社職員と共に活動し戦略を作り上げます。

【将来戦略】

協力隊を卒業後も地域農業の核として活動する農業公社の一員として、活躍して頂きたいと思います。

農業公社での協力隊としての活動

①地域農業の存続を目指した活動

農家の高齢化や担い手不足により、地域ごとに行ってきた農業行事や農地・水路の維持管理が難しくなりつつある。協力隊は、農業公社職員と同じ立ち位置で農地や農業用施設の維持管理体制の構築や担い手育成のための農家所得向上に向けた取り組みなど地域農業の核となり農業活性化に取り組む。

②農業公社の運営を強化する

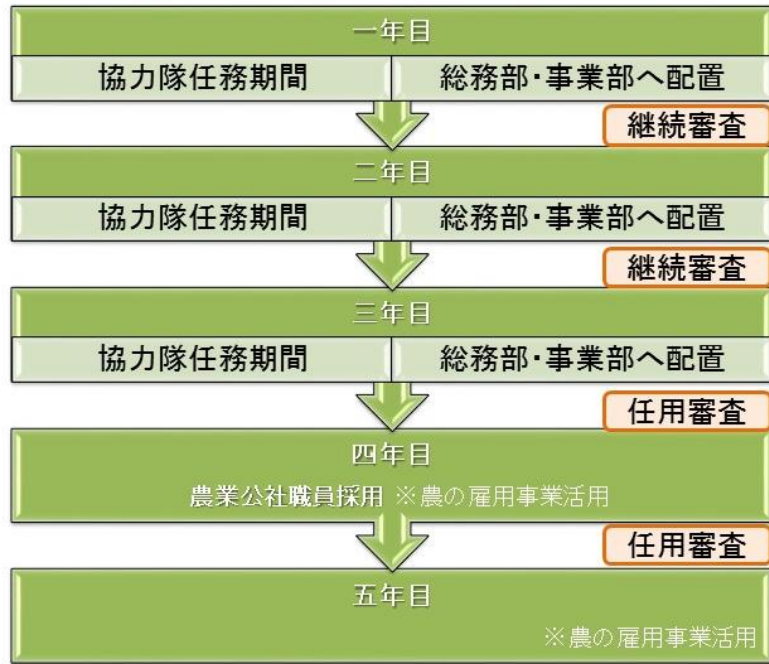
農業公社は、ライスセンターや種苗センターを拠点した①農作業受委託事業(育苗・田植・稲刈・乾燥・粃摺)、②種苗事業(野菜苗・花苗の販売提供 10万本以上)、③農地の保全活動(11ha以上)、④特産品普及事業(商品開発・販路拡大)を展開している。協力隊員は、農業公社職員と一緒に上記の業務を行う。



③農業公社の組織を強化する

農業公社職員は、公社の所有する優位性を活用した農産物のブランド化や商品開発、販路拡大などを積極的に展開している。基本的に町内では公益性、町外では利益追求型を推進し組織の強化を図っている。本公社の取組に協力隊が参画することで中山間の特色を活かした新たな展開の構築や担い手となり活躍することを期待している。

地域おこし協力隊卒業後（定住支援）



地域おこし協力隊を退任後 受入に向けた売上増強計画

